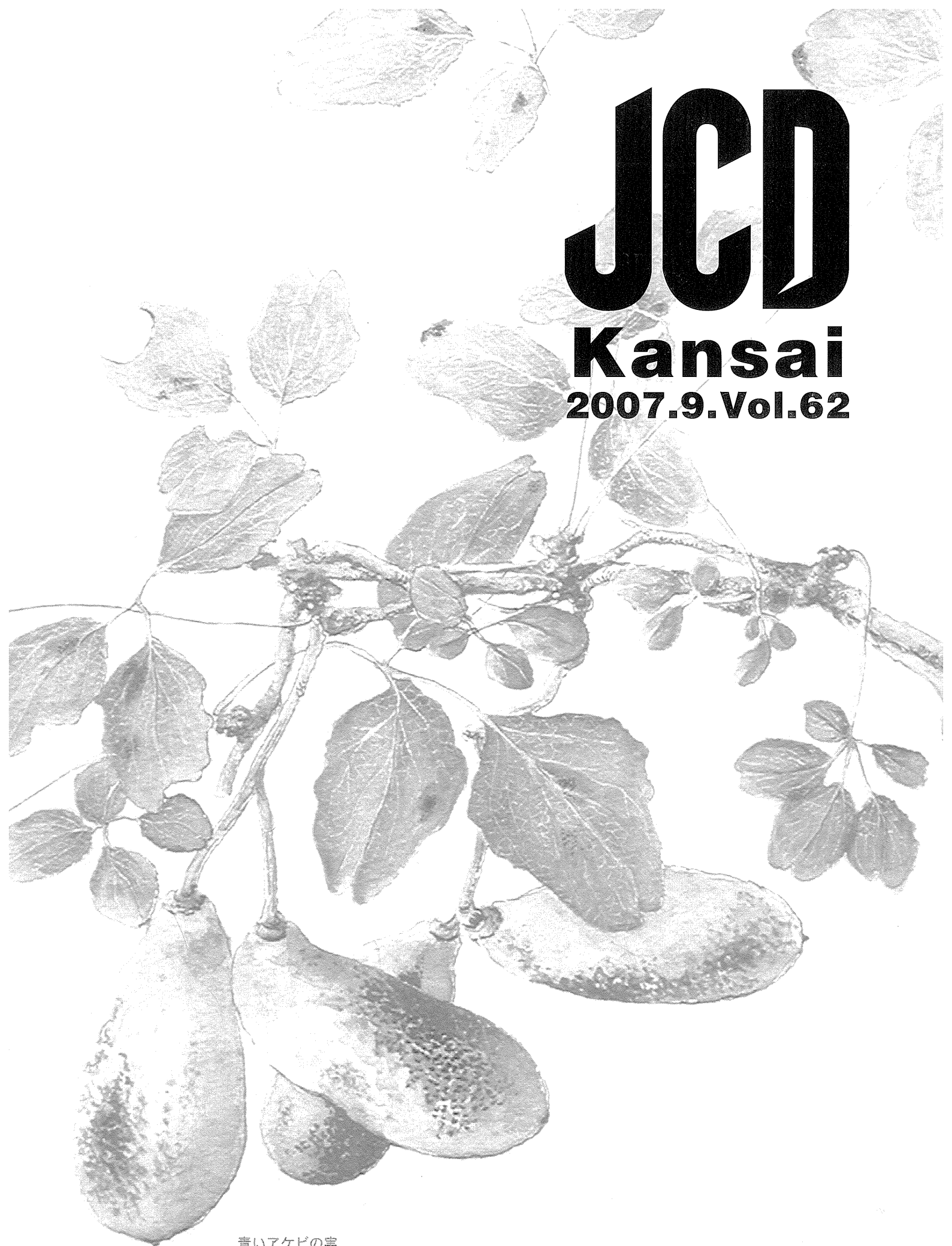


JCD

Kansai

2007.9.Vol.62



青いアケビの実
masao miyake

ライティングデザインのエキスパート

ライティングデザインは面白い。TACTでは、現物(ホンモノ)・現場を体験でき、面白さを体感できます。「面白い」とは、「好き」に近い。好きだから、きつけれど面白い。これからは照明と取り組んで、わくわくドキドキする知的興奮(Exciting)をお届けします。

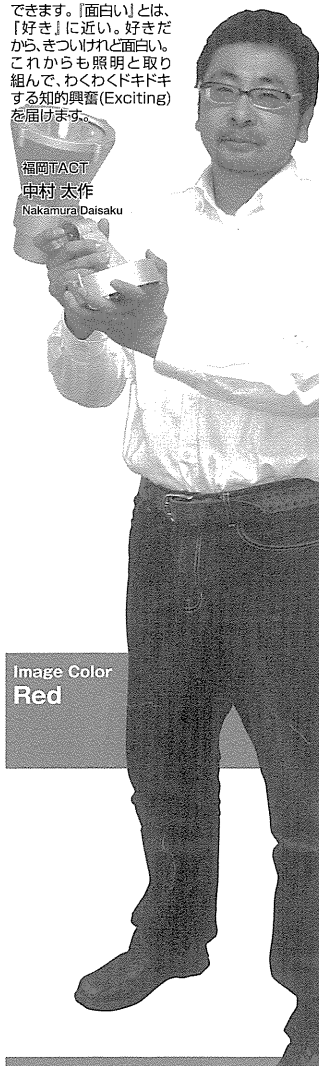


Image Color Red
TACT デザイン課
TACT 企画室

特注設計のエキスパート

金属、ガラス、樹脂、紙、石、布。他にも様々な素材と光源の組合せで生まれる唯一無二の(スペシヤルな)あかり(照明)が創り出された時の感動!それがTACT設計課の私達を新たなチャレンジへと突き動かします。更なる大きな感動を皆様にお届けします。



Image Color Blue
TACT 設計課

商品企画のエキスパート

市場の業種・業態や変化する生活スタイルをいち早くキャッチし、そこに求められる光を商品化します。これまで以上にお客様のニーズにお答えし、また常に斬新な切り口で新しい提案をしていくPLCTブランドを目指します。

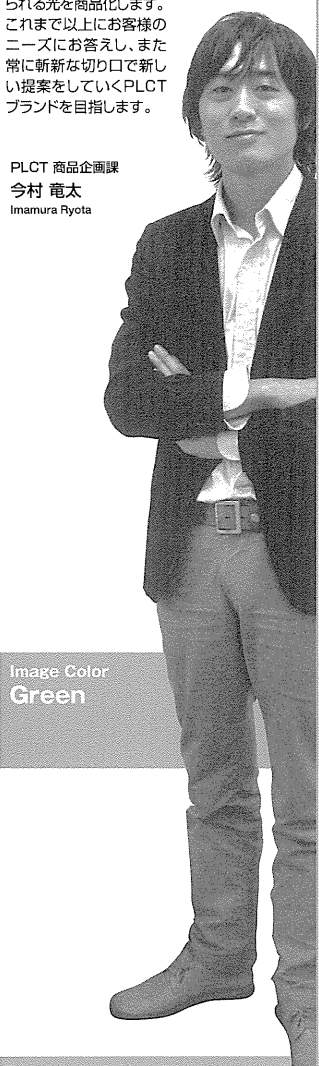


Image Color Green
PLCT 商品企画課
PLCT カタログ制作課

商品設計のエキスパート

PLCT 商品設計課ではあらゆるお客様の立場に立って商品を考え、「機能性」「安全性」「使いやすさ」を求めて、ものづくりを行っています。これからも常に新しいことに挑戦し、高品質な商品づくりを目指して日々取り組んでいきます。

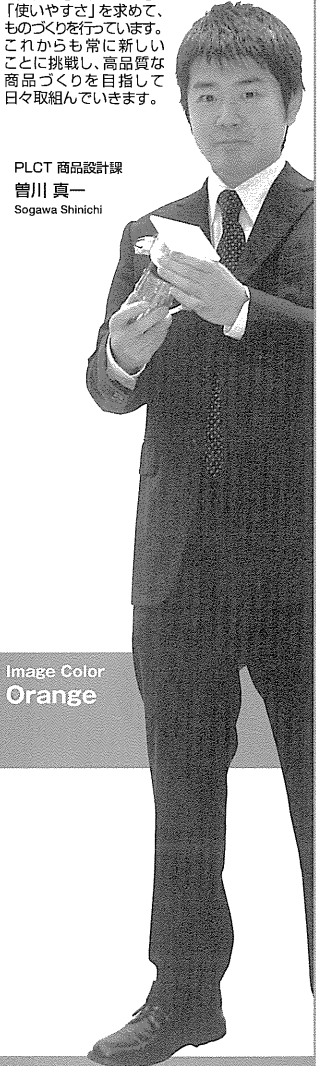
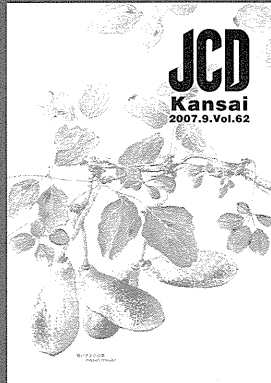


Image Color Orange
PLCT 商品設計課

JCD Kansai 2007.9 Vol.62

【表紙・デザイン】
青いアケビの実
ピー・イー・テクノロジー(株)
三宅雅夫



JCD関西の若い会員を中心とした活動が軌道にのり大きな実になることを願ってこの絵を選択しました。

2007年(平成19年)9月号
vol.62 平成19年9月発行
発行/社団法人
日本商環境設計家協会
関西支部
〒559-0034
大阪市住之江区南港北2-1-10
ATCビル ITM棟10階A-1
(財)大阪デザインセンター内
Tel./Fax. 06-6613-5557

広報委員会
指 導 役/神戸 一生
委 員 長/三嶽 穂積
副 委 員 長/青野 恵太 岡島 昇
塚田 佳弘 三宅 雅夫
委 員/浦 秀樹 瓦野 光貴
清水 勝 原川 公一
制作/グラフィックアーツヘルテ

社団法人 日本商環境設計家協会 関西支部
JCD KANSAI 2007年9月 第62号

04 ● 報告

(社)日本商環境設計家協会 全国総会開催

- 第47回通常総会報告 ————— 金沢 明彦
 - 2007年度 記念フォーラム ————— 藤村 正継
 - レセプションパーティ ————— 長町 志穂
 - 賛助会員PRコーナー ————— 広瀬 明雄
 - 奈良研修 ————— 加藤 義行
 - 「なにわ探検クルーズ」体験記 ————— 山田 悦央
 - ライブハウス ————— 浦 秀樹
 - 奈良懇親会 ————— 末浪 伸浩
- (社)日本商環境設計家協会 関西支部登録賛助会員
(社)日本商環境設計家協会 関西支部正会員

12 ● 特集

JCDデザインアワード2007

- 受賞作品紹介
- JCDデザインアワード2007審査評 ————— 飯島 直樹
- 近藤 康男
 - 片山 正通
 - 小泉 誠
- 関西の受賞者 ————— 長尾 壮一郎
- 今津 康夫

16 ● 特別連載企画

金属素材最前線レポート ————— 三宅 雅夫

金属素材のもつ肌の生命力と自然で細やかで暖かみのある質感がトレンド
各メーカーの取り組み ————— (株)ユニオン
(株)ロイヤル
エヌ・エス・ケーニシダ工業(株)

18 ● 研究委員会報告

Mini Seminar 2007-第1回 ————— 藤村 正継

19 ● 連載

endress marathon communication

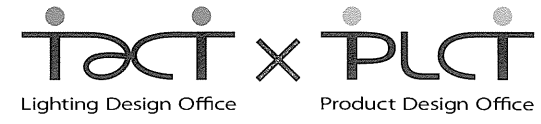
酒と肴 そして ————— 石田 和代

20 ● 報告

JCD関西支部活動報告

大阪デザイン団体連合機構(USD-O) 第7回定例総会 ——— 山田 悦央
るるぶ会 ————— 大森 貴夫

DAIKOが変わる 進化するクリエイター。



<http://www.lighting-daiko.co.jp/>

(社)日本商環境設計家協会 全国総会開催

第47回通常総会報告

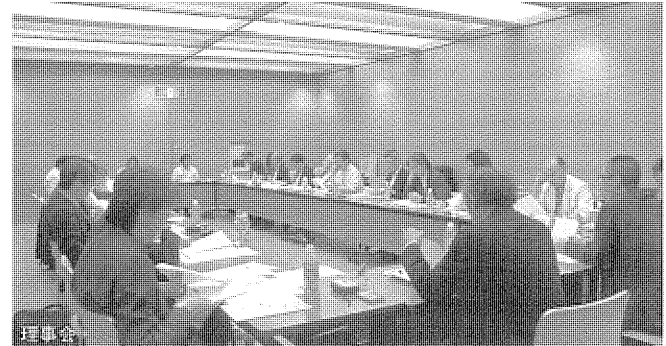
総会実行委員長 金沢 明彦

企画概要

第47回通常総会が、久しぶりに関西で開かれることになり、白井支部長から実行委員長の大役を仰せつかり、実行委員は次世代メンバーを中心にベテランで脇をかため、半年をかけて準備を行いました。

昨年の理事会で各支部の意向を伺ったところ、開催場所は奈良でお願いしたいと言う声が圧倒的に多く、総会は奈良で開催することといたしました。そこでオプションとして、前夜祭はなにわのナイトクルーズとライブハウスのパーティーで、大阪の夜を楽しんでもらい、総会当日は奈良料亭恵方で懇親二次会を開き、翌日は、奈良の世界遺産を見学する勉強会とし、全国から集まった会員に十分に関西の魅力を満喫してもらい、交流を深める意義ある三日間を過ごしていただくことを心がけました。

総会は、「歴史文化の交流舞台に集まろう」をタイトルに奈良開催の意義を込め、会場は奈良に相応しく、歴史を感じるスケールの大きい、愛称ビックルーフという奈良県新公会堂を選定しました。また奈良は三年後に平城遷都1300年の記念事業を控えており、記念フォーラムでは、1300年の時を紡いできた文化遺産を今後どのような視点でデザインに活かし引き継いでいくのかを問いかけるテーマを設定し、「受け継がれてきたデザイン」というタイトルで平城遷都1300年記念事業協会の後援を得て内容を煮詰めていきました。細かい内容はそれぞれの担当者から報告があると思いますが、総会の当日の概要をレポートします。



総会当日

総会実行委員会の委員は5月19日(土)10時、奈良県新公会堂のロビーに集合しました。誰一人遅れる事もなく、支部長の挨拶の後、実行委員長の説明が終わると、おのおの持ち場に散っていきました。総会に先立ち、平成19年度の第1回理事会が11時から開催されました。今回の理事会は総会の準備が主な議題で、総会の出欠状況の確認や18年度活動報告と会計報告、19年の活動計画と予算等の総会議案と総会進行要領の確認をしました。また北陸支部・中部支部の合併に関する件も承認され終了しました。昼食を挟んで13時からの総会へとプログラムは移っていき、その間に総会フォーラム受付の準備、総会会場の準備、デザイン展の設営、賛助会員のPR展示ブースの設営、フォーラムのリハーサル、レセプションの準備等を、実行委員はそれぞれの持ち場で時間と競争しながら慌ただしく働いていました。

第47回通常総会は関西支部衣笠委員の司会で始まり、まず白井支部長が歓迎の挨拶を述べ、続いて飯島理事長が挨拶に立ち、奈良開催の意義やJCDの今後の抱負などを述べました。太細専務理事が総会成立を報告し、白井支部長が議長に、加藤支部長が副議長に選任され議事が進行されました。上程された議案はすべて満場一致で承認されました。続いて授賞式に移り、前理事長の野村武彦会員に特別功労賞が、杉山栄一会員、友田みのり会員と元タジマの斎藤芳一氏に支部功労賞が贈呈されました。

次にJCDプロダクトオブザイヤー2007の表彰が行われ、グランプリに松下電工のLED(MFORCE500シーリングライト)が選ばれ、最後に大道寺副理事長の挨拶で無事閉幕いたしました。

その後、場所を新公会堂内の能楽堂に移して、14時30分から記念フォーラム「受け継がれてきたデザイン」が開催され、17時から大ホールにて賛助会員PRタイムとなり、引き続き18時15分からレセプションパーティーが開催され、会員同士の懇親を深めた後、最後に山田理事の大阪締めでお開きとなりました。

実行委員の皆様、半年間大変ご苦労様でした。賛助会員の皆様、ご協力ありがとうございました。また、全国会員の皆様、遠路はるばる奈良までよくお出かけ下さいました。ご協力いただきました皆様に誌上を借りて厚く御礼申し上げます。

スケジュール

オプション①大阪歓迎会

なにわクルーズ(貸切)

太閤弁当+飲み放題

18:00 湊町船着場発(湊町リーバープレイス)乗船→道頓堀川→木津川→堂島川→土佐堀川→東横堀川→道頓堀川→下船

19:30 湊町船着場着(地下鉄四つ橋線 なんば駅歩3分、地下鉄御堂筋線 なんば駅歩8分)

オプション②大阪パーティ

ミッドナイトパーティ ライブハウス(貸切)

JCDメンバーによる生バンドで手作りパーティ

20:00 ライブハウス「ビートルズ」(地下鉄四つ橋線 四ツ橋駅歩5分)

第47回通常総会(奈良県新公会堂)

11:00 理事会(会議室2)

13:00 第47回通常総会(会議室1)

デザイン賞パネル展示(1Fロビー)

14:15 記念フォーラム(能楽堂)

雅楽公演 演目「蘭陵王(らんりょうおう)」

基調講演 「やまと いにしへの文化に学ぶ」

奈良国立博物館教育室長 西山厚氏

パネルトーク 「デザイン いにしへの現代に続く」

パネリスト:西山厚氏、辻村久信氏(JCD)

コーディネーター:中島敬介氏(平城遷都1300年記念事業推進局 企画課長)

レセプションパーティ(ホール)

17:00 賛助会員様PRコーナー(2Fホール付近)

JCD Product of The Year

オプション③奈良懇親会

奈良懇親会

総会のあと、奈良町の風情を残す静かな店で

20:40 奈良町「恵方(えほう)」(近鉄奈良駅歩5分)

オプション④奈良研修

奈良世界遺産コース(貸切バス)

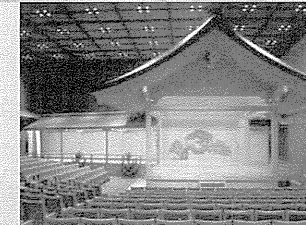
奈良名物弁当付

9:00 JR奈良駅~近鉄奈良駅発→東大寺大仏殿→法隆寺→法起寺→薬師寺等

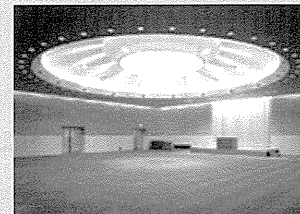
16:00 JR奈良駅~近鉄奈良駅着



奈良県新公会堂



能楽堂



ホール

動員記録	理事会	出席:22名	総会	出席:86名	委任状:189名	議決件数:275	成立
	フォーラム	会員申込:107名		会場入場者総数約:270名			
	レセプション	申込:167名		参加総数:180名	賛助会員PR出展:20社		
	オプション	ナイトクルーズ(なにわ探検クルーズ):34名		ライブハウス(ビートルズ):42名	懇親会(恵方):61名	奈良研修:44名	

5月18日(土)

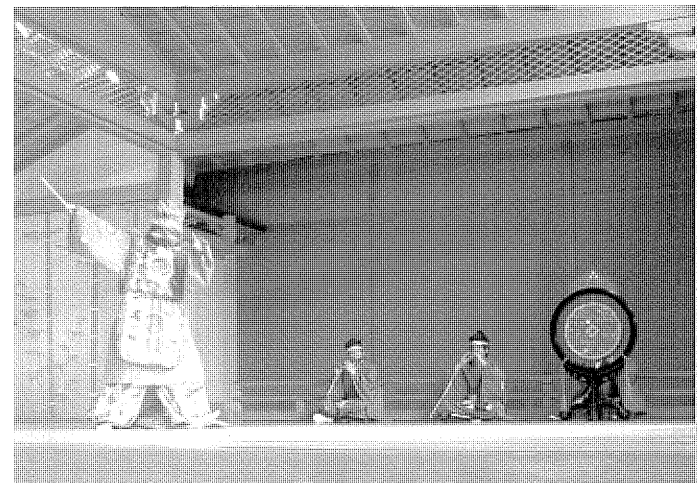
5月19日(日)

5月20日(月)

(社)日本商環境設計家協会 全国総会開催

2007年度 記念フォーラム

藤村 正継



2007年5月19日(土) 奈良県新公会堂 能楽ホール
 テーマ 平城遷都1300年「受け継がれてきたデザイン」
 第一部 舞楽公演
 演目：「蘭陵王」
 舞人：博雅会 岩佐堅志
 第二部 基調講演
 テーマ：「やまと いにしへの文化に学ぶ」
 講演：西山 厚 (奈良国立博物館教育室長)
 第三部 パネルトーク
 テーマ：「デザイン いにしへ～現代に続く」
 パネリスト：西山 厚 (奈良国立博物館教育室長)
 辻村 久信 (インテリアデザイナー JCD会員)
 コーディネーター：中島 敬介 (平城遷都1300年記念事業推進局 企画課長)

今回の記念フォーラムは以上のような内容で行われました。

能楽堂という会場のシュチエーションもあいまって、歴史や文化の漂うなかでのフォーラムになりました。

まず、第一部では、会場入りした人の度肝を抜く舞楽の公演。歴史を感じる雅楽の演奏と舞は、観る人の心を落ち着け、改めて日本人であることを実感させられたひとときであったと思います。演目の蘭陵王は、美男の王が戦力を高めるため、わざと面をつけて戦場に立ったところ、闘いに勝ったという中国の古史に習う戦勝の祝いの舞です。衣装のデザインの美しさにも魅了されました。

第二部は、西山氏による基調講演。東大寺と大仏の話、正倉院と宝物の話、二月堂とお水取りの話をお聞きしました。二月堂のお水取りが1256年もの間、一年の休みもなく続けられている事であるとか、正倉院にある聖武天皇ゆかりの宝物には目録があり、その最後の品目は



ベッドであるとか、私達デザイナーが聞いてとても興味深い話を聞くことが出来ました。また、1300年という歴史と文化を学べた講演であったと思います。

第三部は私達の仲間、インテリアデザイナーの辻村氏と平城遷都1300年協会の中島氏を交えてのパネルディスカッションを行いました。新しい文化・デザインを創造する際に、新しく出来たものでなく、江戸時代以前の古い文化にインスパイアされることが多いことなど、共感するお話を聞き、古くから伝わる文化・



デザインを継承すること、新しい文化・デザインを創造すること、一見対極に思われるこの行為が、実は脈々と繋がっていると感じました。改めて、奈良という地を選んでの記念フォーラムには意味があったのだ、と感じる一日でした。

私達デザイナーは日々デザインを生み出しています。そのデザインが1300年後の人々に称賛されるようなデザインであるのでしょうか、ややもすると使い捨てになっていないのでしょうか、自身を反省し今後の活動につながる良い機会になりました。

レセプションパーティ

長町 志穂

全国総会後、奈良県新公会堂二階レセプションホールにてレセプションパーティが開催された。今回も北海道から九州まで全国のJCD会員が、総勢180名集結という盛大なものとなった。



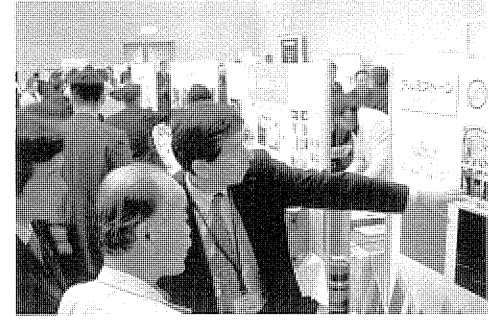
白井支部長の開催の挨拶で始まり、来賓のご挨拶の後、各支部の活動報告プレゼン。全国のJCDメンバーが各地で様々な活動を行っていることを画像で伝え、支部毎に壇上が上がって顔見世をして、和やかで活気のある会となった。

会場では、賛助会員の商品紹介も行われ、皆熱心に商品説明を聞いており、こちらも大いに盛り上がった。

賛助会員PRコーナー

広瀬 明雄

JCD広報委員会への協力で毎月開催される弊社ショールームでの広報委員会。そのメンバーの方々にはショールームでご覧いただいている商品は多数あるのですが、今回のJCD総会のPRコーナー出展に当たり、一般会員の方々にその中で「いざ何を紹介しようか」ということになると、「あれもこれも」と非常に悩んだところでした。



弊社は3年ぶりに新しく発売となったカーペットを選びましたが、限られたスペースのなかでは十分にお見せすることができず反省しきりという状況でした。各社工夫を凝らしての展示には、その企業の意気込みが垣間見え、第三者的な立場でみれば、競合メーカー同士が火花を散らす裏側が見えた方もいるのではないのでしょうか。あの

ように各社が同じ土俵で展示をする機会というのは、大きな展示会ではそれぞれブースの大きさや出展点数の多さにヤル気が現れてくるものですが、今回のような規模で並列に展示する場合は、とりもなおさず担当者の取り組み姿勢そのものがあの場所に現れていたと思います。はたして当社のヤル気には何点いただけたのか気になるところです。

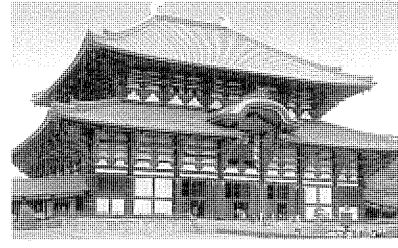
一方で、賛助会員というポジションにある企業にとってはライバルメーカーの動向、戦略商品の情報なども収集でき、非常に刺激となった機会であったと思われます。希望をいわせていただければ、関西支部総会の時のように「ひとことPRタイム」があればよかったです。残念ながら和気あいあいの中、アルコールの影響もあったのか最後は「なし崩しに散会」という状況は参加企業としてはPR効果がどの位あったのか気になるところです。

今後もJCD賛助会員としてできる限りのお手伝いはしていきますので、また声を掛けてください。ありがとうございました。

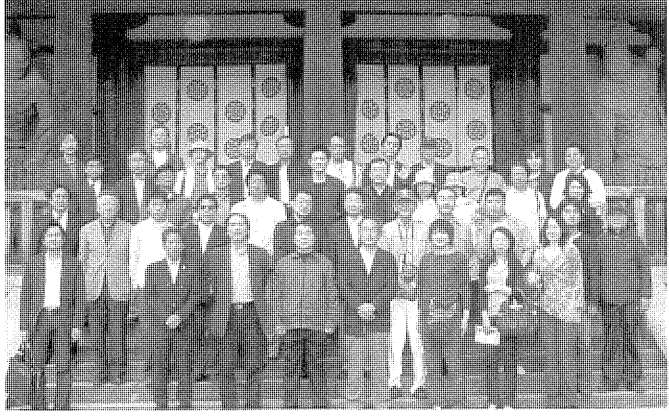
奈良研修

加藤 義行

全国の正会員、賛助会員総勢約44名で世界遺産を巡る奈良研修が開催されました。大菅名誉会員の案内の下、東大寺(大仏殿、二月堂)そして法隆寺、法起寺、薬師寺の寺院建築の素晴らしさに感銘しました。



前日の西山厚先生の基調講演でお話がありました東大寺の大仏殿の様々な秘密や、寺院に関する知識を実物を見ながら確認できました。また、大菅名誉会員から直接ご教授いただいた点が、当日参加いただきました参加者の方々から大変好評でした。感謝申し上げます。



私自身も関西に住みながらじっくり奈良を探究する機会がなかったので、今回の研修は奈良の寺院を知る上で大変良い経験をさせていただきました。ありがとうございました。

(社)日本商環境設計家協会 全国総会開催

「なにわ探検クルーズ」体験記(雨が降らずによかったの巻)

山田 悦央

全国総会のイベントとして開催された「なにわ探検クルーズ」は34名が参加して行われた。天気予報では18:00ぐらいから雨の予報があり心配していたが、担当者の日頃の行いが良かったのかクルージング終了まで雨が降らずにすんだのがなによりであった。

参加者の乗った船は、湊町船着場を出港し、大昔名誉会員の手作り案内地図を見ながら名調子の説明を聞き、道頓堀川から東横堀川を経て大川(旧淀川)に出て中之島中央公会堂を見学、そして川崎橋を折り返すコースで行われた。

途中、戎橋では一般の通行客から手を振ってもらい、東横堀川水門では水位調整も体験。また、相合橋では



亀井・衣笠両会員が全国から集まった会員に対し、手作りの横断幕で歓迎をするパフォーマンスもあったりと、参加者全員『こてこての大阪』を堪能した1時間30分であった。

ライブハウス

蒲 秀樹

総会の前夜祭として、「なにわクルーズ」の余韻が残る中、会場を市内ライブハウス「ビートルズ」に移しスタート。担当は、亀井氏と衣笠氏。構成は前年の秋からの熟成もので会員の方々の年齢層も考慮し、70~80年代をテーマに生演奏で盛り上げるというものでした。

- 第1部 “フォークソングで盛り上がりよう” by衣笠
第2部 “フュージョンで大人な雰囲気” by各地の出演者。
第3部 “生ギターでカラオケコーナー” の3部構成



企画が固まった後は、担当の両名が仕事もそっちのけという状態。すべては、「大阪大会を盛り上げるために」「おもてなしの気持ちでわいわい」という熱い想いがそうってしまったようです。

会場の雰囲気は、亀井氏のどこかで仕事してそうな“名司会”で即ボルテージアップ。続いて衣笠氏の甘い声で会場があっという間にいい雰囲気になりました。そして第2部の各地のスター揃いの演奏で最高潮に。第3部のカラオケは、当初「前で歌ってもらえるだろうか?」という担当の不安もどこへやら!? あっという間に30曲が決定。なつかしの名曲がたくさん準備されたこともあり、いつの間にか合唱状態に。皆さん本当に楽しんで頂けました。お陰で翌日の行事にスムーズにつなげられたと感じます。担当の方をはじめ、関係の方々、さらにはお店のご協力に深く感謝いたします。

奈良懇親会

末浪 伸浩

『会場が場所が、ちっちゃ…違う?!!』……………懇親会を終えた本会場からバスで県庁前まで移動し、月明かりに照らされた五重の塔を横目に眺めながら、各支部の会員の方々と一緒に奈良公園の中を会場の恵方へと向かいました。

“ならまち”の中にある割烹恵方は、外観こそ改修で新しくなっていますが、内部はかつての面影を色濃く残す風情ある空間で、そんな中で皆さんにゆっくりと過ごして頂こうと予定していたのですが…すべて私のミスです。お許しください。数ヶ月前からこの日の為に検討を重ね、準備をしてこられた関西支部の面々にも大変申し訳なく

感じております。反省!

お疲れの中、徒歩で駅前商店街の会場に移り、宴が始まったのですが、さすが心の広いJCD会員の皆様方!、お酒が入ると何事もなかったかのように、御歓談いただき、非常に感謝しております。謝謝!……………

帰途の交通手段がなくなったのと、翌日の奈良研修への体力を温存する為(?)、某支部の支部長とN氏は拙宅にお越し頂きました。

結局明け方近くまでビールを呑むことになってしまいました。

関西支部登録賛助会員

Table with columns: 社名, 担当者所属部署, 担当者, 住所, TEL. Lists various member companies and their contact information.

(以上50音順 平成19年8月末現在)

(社)日本商環境設計家協会 関西支部名簿

関西支部正会員

氏名	勤務先	T E L	F A X
青野 恵太	株式会社乃村工藝社	06-6686-6094	06-6686-6311
東 潤一郎	JA laboratory	06-6449-3801	06-6449-3812
足立 和夫	株式会社フレスコ	06-6264-7526	06-6261-9186
荒井 弘	株式会社アライ企画	075-213-7496	075-213-7498
荒畑 肇	荒畑商環境デザイン研究所	06-6906-5841	06-6906-5841
市川 邦治	松下電工株式会社 照明デザイン室	06-6903-1063	06-6909-4245
稲垣 仁志	大和工商リース株式会社 東京本店	03-5214-2301	03-5214-2311
今福 彰俊	スーパーマニアックB&S有限会社	06-4801-8977	06-4801-8933
岩本 勝也	岩本勝也+エンバディ・デザイン	06-6366-1181	06-6366-1182
宇川 邦彦	大昌工芸株式会社 大阪事業部	06-6389-5331	06-6389-5339
内田 巧	株式会社地域開発総合研究所	078-262-8901	078-262-8911
老田 徳廣	ヒロデザイン事務所	0773-56-0336	0773-56-0336
大森 貴夫	株式会社近鉄百貨店	06-6625-2300	06-6622-7612
大和 和男	オフィス トライアド	06-6614-6655	06-6614-6655
岡島 昇	株式会社スペース	06-4390-1460	06-4390-1466
奥野 道郎	株式会社AUC(オーク)計画研究所	06-6539-5875	06-6539-5876
鹿嶋 圭三	株式会社ジオ・アカマツ	06-6252-3876	06-6258-5374
加藤 義行	松下電工株式会社 ナショップ・調光システム事業部	06-6908-7374	06-6908-2039
金沢 明彦	ジーク株式会社 大阪店	06-6943-6151	06-6943-1716
要 信行	ホロニック・パラダイム研究所	072-224-8190	072-224-8190
蒲 秀樹	松下電工株式会社 ナショップ・調光システム事業部	06-6908-7836	06-6945-7833
亀井 克二	有限会社エーディーエー	06-6535-8353	06-6535-8354
萱野 光一	有限会社ヴィッツコーポレーション	0736-54-9220	0736-54-9221
川崎 義広	プロペラ インテグレイターズ	0797-25-5144	0797-25-5145
瓦野 光貴	株式会社瓦野/HAUSEN	06-6791-1108	06-6791-8132
神原 龍二	株式会社日展	06-6362-2210	06-6361-2287
神戸 一生	都市商業研究所	078-341-0256	078-341-0092
衣笠 和宏	スペースデザイン ウィン'97	06-6209-0775	06-6209-0775
久保 茂	株式会社乃村工藝社 商環境カンパニー	06-6686-6106	06-6686-6311
久保田 博文	株式会社まちかど企画	06-6282-0141	06-6282-0482
郷 力憲	藍煌房 郷力憲治デザイン室	0729-85-8952	0729-85-8952
児玉 和之	児玉株式会社	06-6762-5839	06-6764-7350
小西 宏親	小西家具	0774-63-0748	0774-62-9395
権藤 旭	ギルド	06-6375-9052	06-6375-9054
酒井 浩司	シエスタ インターナショナル アソシエイツ 一級建築士事務所	06-6535-5213	06-6535-5214
酒井 礼子	Kram Design	0743-64-1232	0743-64-5082
桜井 敬三	株式会社電通 関西支社プロモーション事業局	06-6342-2722	06-6342-2887
笹木 秀近	株式会社アイデア	03-3833-7050	03-3833-7061
佐藤 史仁	株式会社コンプレックス	06-4391-8780	06-4391-8783
里吉 明	DOING design	06-6244-0665	06-6244-0666
嶋原 英夫	嶋原デザイン事務所	078-857-3235	078-857-3236
清水 勝	宇宙計画株式会社	06-6776-9785	06-6776-9786
白井 進	有限会社現代店舗	06-6641-7068	06-6633-2788
末浪 伸浩	デザインプロデュース アルゴ	0743-52-1354	0743-52-1374
杉山 榮一	有限会社マン・スギヤマ・デザインルーム	06-6762-7318	06-6762-7399
高城 茂四郎	マックススペースデザイン	06-6368-8681	06-6368-8672
塚田 佳弘	ティーズデザイン	075-391-4493	075-391-4493
遠 襄	ツジ店舗設計事務所	0596-25-5700	0596-25-5700
辻川 正治	株式会社ジオ・アカマツ	06-6252-3810	06-6258-5374

氏名	勤務先	T E L	F A X
辻村 久信	辻村久信デザイン事務所 + 株式会社ムーンバランス	075-221-6403	075-221-6430
辻村 保計	株式会社ジオ・アカマツ	06-6252-6451	06-6258-6040
出口 巳幸	株式会社エフ・ピー・シー大阪オフィス	06-4793-8530	06-4793-8531
寺井 義和	有限会社 寺井共創研究所	06-4391-9797	06-4391-9798
友田 みのり	MINO CREER(ミーノ・クレエ)	06-6323-3680	06-6323-3680
中尾 晋也	大光電機株式会社	06-6222-6250	06-6222-6252
長岡 茂	株式会社佐藤総合計画	03-3436-3511	03-3436-3513
中津 正藏	総合空間研究所	06-6265-3280	06-6265-3280
中塚 重樹	株式会社アルクインターナショナル	075-255-6100	075-255-6110
長町 志穂	LEM空間工房	06-6262-7058	06-6262-7068
中村 裕輔	株式会社乃村工藝社	06-6686-6278	06-6686-6097
西澤 嘉信	株式会社アビタ建築デザイン事務所	075-255-1141	075-255-5657
西村 克巳	株式会社丹青社 関西支店	06-6313-5160	06-6313-5199
野井 成正	野井成正デザイン事務所	06-6358-5292	06-6353-3102
野村 武彦	株式会社ジオ・アカマツ	06-6252-3810	06-6258-5374
野村 充	野村充建築設計事務所	0721-63-3780	0721-63-3780
橋本 健二	橋本健二建築設計事務所	0726-23-6767	0726-23-6795
畑中 敏行	株式会社エイッチ・ツウ・オー	06-6354-0820	06-6354-0825
羽原 清明	ビー・イー・テクノロジー株式会社	06-4964-4717	06-4964-4727
原川 公一	有限会社原川公一商環境計画研究所	06-6618-8866	06-6789-1360
平井 隆嗣	平井隆嗣事務所	06-6378-2170	06-6378-2171
平岡 孝啓	平岡建築デザイン一級建築士事務所	06-6253-3737	06-6253-3675
廣内 良明	株式会社ハビック	06-6957-8864	06-6957-8865
廣川 啓智	株式会社ユニオン・アート・ジャパンコーポレーション 有限会社ユニオン・アート・デザイン企画	06-6625-1700	06-6625-1710
藤井 清幸	藤井設計事務所	06-6779-0219	06-6779-6653
藤谷 明正	藤谷デザイン事務所	078-752-2201	078-752-2201
藤村 正継	CN-JAPAN/株式会社クリエイティブネットワーク	075-313-5484	075-313-5485
前田 泰弘	オフィス マエダ	06-6929-2753	06-6929-2753
間宮 吉彦	株式会社インフィクス	06-6110-1128	06-6534-0577
見崎 征之	株式会社ミサキデザイン	078-331-8135	078-331-1563
三嶽 穂積	株式会社乃村工藝社	06-6686-6260	06-6686-6311
道下 浩樹	道下浩樹デザイン事務所	06-4390-0440	06-4390-0441
南原 利廣	栗東市コミュニティセンター 葉山東	077-554-0141	077-554-0141
三宅 雅夫	ビー・イー・テクノロジー株式会社	06-4964-4717	06-4964-4727
三輪 清茂	株式会社アグリ	06-6635-5310	06-6635-5317
森井 良幸	株式会社カフェ	06-6533-8607	06-6533-8608
森田 昭一	株式会社スペース 大阪本部	06-6444-1992	06-6444-1009
柳瀬 寛之	株式会社ヤナセライティング	06-6645-1721	06-6645-1720
山口 明	有限会社デュオ	075-762-0275	075-762-0276
山口 雅史	株式会社サン・スペース	06-6264-7398	06-6264-5937
山崎 康正	株式会社乃村工藝社	06-6686-6269	06-6686-6097
山田 悦央	株式会社ピクデザイン事務所	06-6358-5265	06-6358-5264
山田 常寿	株式会社ジオ・アカマツ	06-6252-3810	06-6258-5374
山本 喜三郎	株式会社フジタカ	075-955-9905	075-954-4282
横山 和夫	サンクリエーション	06-4704-1381	06-4704-1382
横山 一博	株式会社大洋工芸	06-6364-4621	06-6364-4234
吉岡 憲司	レンゴオ設計事務所	06-6644-3577	06-6644-3270
吉田 博文	スウォッチグループジャパン株式会社	072-297-4685	072-297-4685
米澤 研二	株式会社日建スペースデザイン(大阪設計室)	06-6203-2655	06-6203-5967
渡邊 彰	株式会社英進	06-6292-3232	06-6292-3233

(以上50音順 平成19年8月末現在)

JCDデザインアワード2007



撮影：阿野太一

JIN'S GLOBAL STANDARD NAGAREYAMA

中村竜治

株式会社中村竜治建築設計事務所

大賞
Grand prize

新人賞
Rookie award



撮影：CACTUS 元圭一

表装=断層

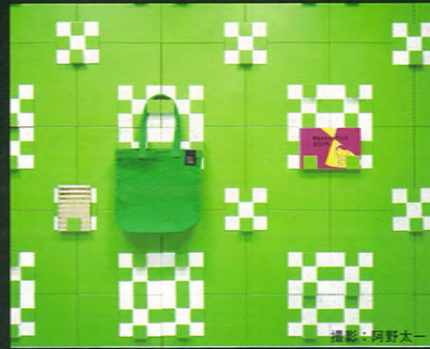
門内一生、高橋洋一
C.A.P DESIGN INC.



撮影：林聖山

me 台中新光三越

平綿久晃、渡部智宏
有限会社モーメント



撮影：阿野太一

デイリー・フレッシュ・ストア

丸田絢子
株式会社丸田絢子建築設計事務所



撮影：阿野太一

ブーリアン (東大医学部教育研究棟カフェコーナー)

鈴野浩一、禿真哉 トラフ建築設計事務所



撮影：Nacasa & Partners

ASTA AVEDA ダイヤモンドシティmu 店

グエナエル・ニコラ、酒井篤志 CURIOSITY



撮影：Yusuke Wakabayashi

reed space.

岡部修三、茨田督大、上川聡 upsetters architects



撮影：阿野太一

ILLOIHA OMOTESANDO

有限会社 nendo



撮影：阿野太一

Alice's Tea Party

有限会社 nendo

審査員賞
Jury's prize

サイトウマコト賞
Belberry

上垣内泰輔、立川美和
丹青社、
丹青社クリエイティブデザインスタジオ



撮影：Nacasa & Partners

UNIQLO



撮影：Nacasa & Partners

片山正通賞 UNIQLO 関西エアポート店
グエナエル・ニコラ、吉田英司 CURIOSITY

山本雅也賞
b6

松下計、藤田克美
松下計デザイン室/F.PLUS



撮影：西川公典



撮影：阿野太一

平野敬子賞 ABC kitchen studio

有限会社 nendo



撮影：阿野太一

間宮吉彦賞 kisala

有限会社 nendo



撮影：宮本佳明建築設計事務所

文田昭仁・面出薫賞 クローバーハウス

宮本佳明 宮本佳明建築設計事務所

JCDデザインアワード2007

JCDデザインアワード2007 審査評

JCD 理事長 飯島 直樹

最近のJCDデザインアワードは、若手建築家の空間デザインが台頭している。シャープな切り口が特徴だ。パネのように柔軟で発想がユニークだ。とはいえ、そんな動きが来年どうなるかはわからない。そのくらい、このアワードの動向は生々しく推移する。

さて今年の動向。私は今年、ネットでの1次審査のみの参加だったので、公開の2次審査は少し引いた目で体験できた。そのせいもあるのだろうが、上位入賞へ審査が移行するあたりから「あれ、何かヘンだな」と感じはじめた。シャープな切り口なのだが、妙になつかしい。たとえばnendoの「kisara」の影のデザインモチーフや「Alice's Tea Party」のバースペクティブのイリュージョンは、1960年代の高松次郎のアート作品に表出して

『JCDデザインアワード』もネット審査に移行して2年目になる。400数十という応募があり、一段とハードルが高くなっているように思う。その中で大賞に選ばれた眼鏡ショップは、角地である正方形の敷地の中に斜めの導線を入れ、天井までの壁を配置するというシンプルな構成で成立している。一見して商業的に考えると、角地の斜め導線は単なる「通過動線」となり、また天井までの壁は視線を遮るため、防犯上や接客上の問題により、通常は避ける構成である。そうしたハンディをものともせず、チャレンジしたデザインは、作者であるデザイナーの高いプレゼンテーション力によるものであり、またそれを許容したオーナーの力も大

今の日本の状況は、ますます時代が忙しくなり、ショップの寿命が3年から長くても5年、7年程度と短くなっている。それは悲しいことでもあるが、デザイナーの立場から見れば、新陳代謝が活発で、実験が許される時代であるといえる。

そうした実験に積極的に挑戦する姿勢を感じさせてくれたのが、大賞の「JIN'S GLOBAL STANDARD NAGAREYAMA」だ。反則ギリギリの所で無茶なことをしているが、その無茶を空間としてうまく成立させ、強いコミュニケーション力を発している。確かに違和感のある空間だが、「モール」という状況の中での役割を心得ている作品だと思う。空間の発するコミュニケーションには、いろいろな種類があって、心地よいだけでなく、逆に良

JCDデザインアワードは、空間領域におけるコミュニケーションスペースの新たな状況を創出するため、応募対象を曖昧な6つの言葉として掲げ、(1. 買うこと 2. 食べること 3. 集うこと 4. 楽しむこと 5. 伝えること 6. 感じること) 商環境というフレームを広げると同時に「今」という時代が見えてくることを期待した。

応募方法は昨年インターネットで行い、434点(うち国外21点)の応募が集まった。一次審査は様々な職種の審査員28組に依頼し、インターネットで審査を行った。(飯島直樹、五十嵐久枝、井坂幸恵、岩佐達雄、牛建務、奥平与人、加藤吉宏、桐山登士樹、小泉誠、小坂竜、下川一哉、武石正宣、太細通、辻村久信、西山浩平、野井成政、橋本夕紀夫、長

いたものを思わせた。

同じことが大賞作品にも感じられた。中村竜治の「JIN'S GLOBAL STANDARD NAGAREYAMA」は、いささか強引なデザインだ。45°に振った壁が徹底して並列する。デザインの内容ではなく、45°の形式の即物性が強調される。20世紀はじめの形式主義(ロシアフォーモリズムやノイエザハリツヒカイト=新即物主義)と、とても似ている。

私は、こうした入賞作が登場してきたことを大変興味深く思っている。なぜならば、最近の(10年というよりも5年位の早いサイクルで訪れる)商環境の空間デザインの「変化」のさざしきも知れないからだ。

審査員長 近藤 康男

大きく作用しているであろう。マイナスの要素を克服し、ショップ機能を充足させて店舗を成立させていることは、大賞という評価に値する。最後に、ここ数年の大賞受賞を振り返ると、今回も若手建築家の仕事を選ばれている。本来インテリアを専門とするデザイナーが受賞できないことは、少々気になることである。私見ではあるが、デザインの仕事が表層的になりつつあるという傾向が強いのではないだろうか。今回の大賞にも当てはまるが、建築的な考え方の中で空間をどう創り上げるかというコンセプトが明解に表現されている。デザイナーがこれから仕事をしていく上での一つの問題定義に繋がるのではないかと考えている。

審査員 片山 正通

い意味での「気持ち悪い」空間もある。状況によって選択するコミュニケーションの種類が変わるわけで、この作品では「気持ち悪さ」がパワーとなって、モールの中における一店舗に顧客の興味を引くために作用している。置かれた状況といちばん戦った作品として選んだ。

また、特別賞として選んだ「UNIQLO 関西エアポート店」も、同じようにコミュニケーション力の強い作品だ。モノクロで空間を構成し、ズバツと商品だけを見せる潔さがある。「ショップ=商品を販売する場所」というダイレクトなコミュニケーションは、商品だけが浮かび上がり、デザインを感じさせない。「店舗にデザインが必要か」ということを考えさせる空間だ。

審査員 小泉 誠

谷川演、みかんぐみ、ヨコソマコト、二次審査員)この一次審査で選出された作品を「2007年JCD.BEST100」という新たな価値観を設けて伝えていった。二次審査は6月19日東京デザインセンターにて行われ、100点の作品をプレゼンテーションパネルをもとに審査員8名(近藤康男審査員長、片山正通、サイトウマコト、平野敬子、文田昭仁、間宮吉彦、面出薫、山本雅也)により公開で審査が進められた。第一段階では入賞者25名を選定し、その後第二段階で金賞と大賞候補の6点を選出した。大賞決定前に各賞の検討を行い新人賞3点、審査員賞6点、海外賞3点(金賞・銀賞・銅賞)が決定した。大賞選定は候補6点から各審査員の白熱した討議のうえ決定した。

関西の受賞者

銀賞 Silver prize



hair make Rush 長尾 壮一郎 タカラスペースデザイン株式会社

hair make Rushは陶芸で有名な信楽のとなり、滋賀県甲賀市に位置し、美容室の機能だけでなく、陶芸や写真の展示をおこなえるギャラリー機能も包含し、もの創りを伝える場として「表情」を視覚化するための空間を計画しました。

美容室の舞台であるスタイリングスペースに配置された、長さ5200mmのH型鋼のハンガーは、ミラーを引っ掛ける為だけではなく、絵画や写真・洋服なども引っ掛けることを意図してデザインしました。

この単純で無垢なハンガーが、スタイリングスペースをより意味の広い密接なお客とのコミュニケーションの場と転換させると同時に、このハンガーに掛けられた機能が、空間にフレキシビリティとクリエイティビティを強く誘発させるものとなる。

銀賞 Silver prize



mole 今津康夫 ninkipen! 一級建築士事務所

化粧品会社のSOHOである。その主力商品であるジェル状化粧品のイメージをファサードに表現できないかと考えた。ジェルに含まれる気泡というモチーフを直線的に扱いながら、角度によって変化させることで抽象化し、見る者に様々な印象を与えると同時に、風景の中に溶け込ますことを試みている。

ルーバーはアルミニウム素地プレート厚2.5mmを使用している。まずはじめに細長く四角いプレートとカーブを持つプレートを用意し、それぞれを中央で折り曲げアングル状にする。気泡部分は曲率の違うカーブを凸状に組み合わせることで他のルーバーが構成する面からエンボス状に浮き上がる。カーブ部分はプレートを打ち抜いてつくる時にのこぎり状の断面となるが、効果が強まると判断しそのまま残している。

そうして出来上がる3種類のエンボスを気泡とみなし、それらが水のなかにのぼっていくかのように、下から上に向かってリズムカルに配置した。

夜はルーバーの間から漏れる光によって建物全体が行灯のように光り、住宅街の中にあってランドマークとなり始めている。

■選考点数一覧表

	応募総数			入賞点数
	国内	海外	計	
1: 買うこと	65	1	66	9
2: 食べること	92	4	96	1
3: 集うこと	61	0	61	1
4: 楽しむこと	73	8	81	8
5: 伝えること	59	6	65	8
6: 感じること	63	2	65	3
合計	413	21	434	31

■入賞の内訳

大賞	金賞	新人賞	審査員賞	銀賞	海外賞
1		2	2	3	1
	1		1		
	2	1		3	2
	1		1	6	
	1		1	1	
1	5	3	6	13	3

企画内容

空間の中に使われる金属素材は近年多くの表情を持った表面加工・形状加工が開発され、旧来よりのイメージから大きく変わりつつある。空間以外の分野で使われていた加工もあれば、新しく開発されたものもある。空間デザインが素材の新しい表情を求める時、旧来と一味違う金属の表情を活かした空間デザインが可能になる。

賛助会員の中で金属加工に対して新しい技術・工夫に対し取り組んでおられる会社をお願いし、金属加工に対する取り組みを通して現在の状況とこれからの可能性を取材した。

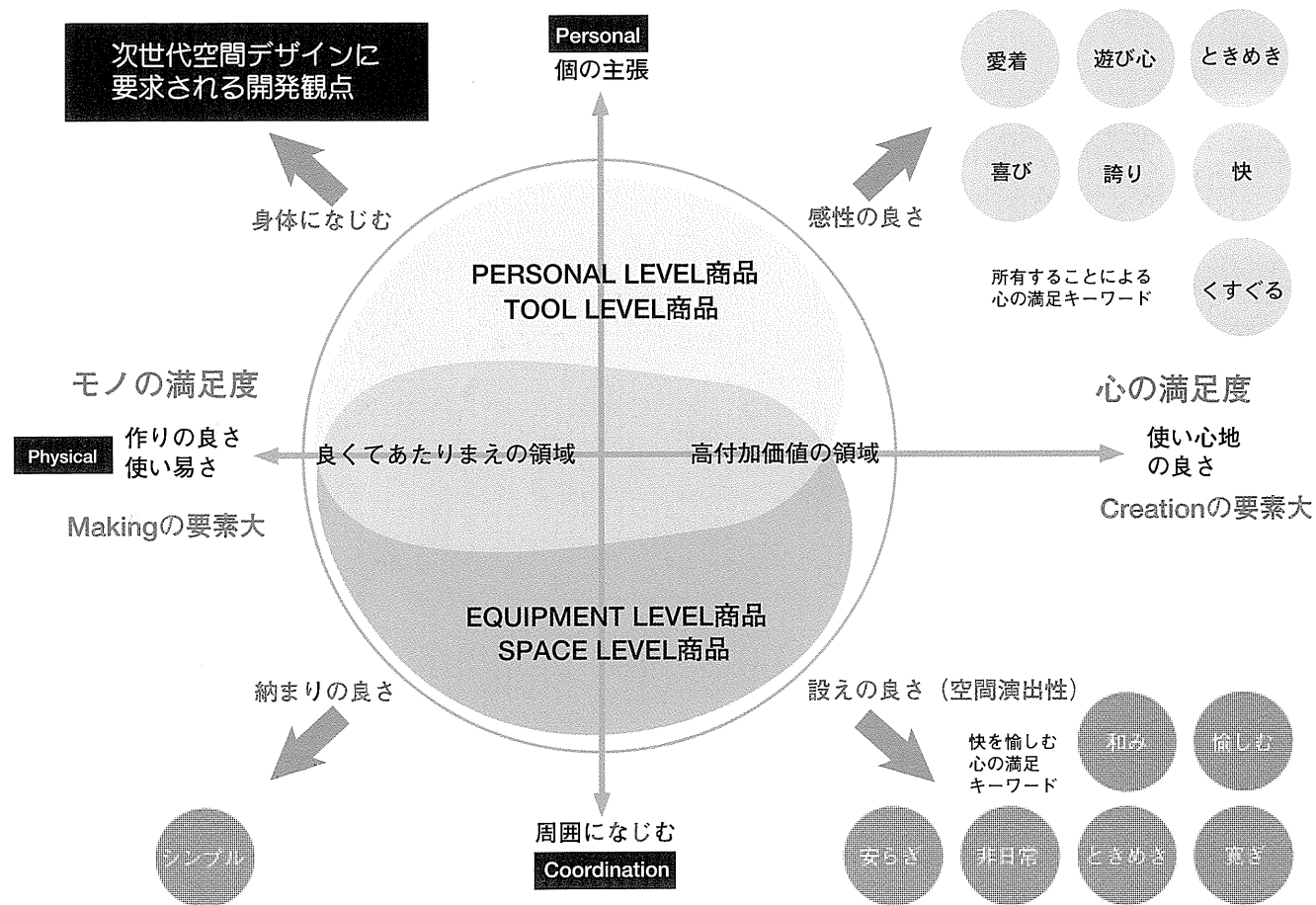
今回は、株式会社ユニオンの最上級商材「ロマンテ」にみる金属加工技術

株式会社ロイヤルの StoreFixtures 商品の最高級ブランド「vieu」シリーズ

エヌ・エス・ケーニシダ工業株式会社の「アルミストーン」新感覚のアルミ建材の加工技術

上記3社における金属素材のサーフェスデザインという絞り込んだ領域のデザインを取り上げ取材した。

文章にするよりも、その結果を図表でトレンドとしてまとめてみると、下記のような各社共通の開発観点が見えてきた。



個人が使う商品から空間レベルの商品まで素材の質感や仕上げ、作りの良さは、良くてあたりまえの昨今、ユーザーのモノへの満足度は非常に高くなっている。ユーザーはモノを作る作り手側の都合ではなく、作りの良さや使い易さ = 「モノへの満足」プラス使い心地の良さを充足させる「心の満足度」をより高めてくれる商品や空間に、感動を求める時代への流れとなっている。

各社より取材中に印象的な言葉や表現を聞くことができた。例に挙げると、価格競争から脱皮し、付加価値への工夫を重点志向し、金属特有の緊張感と冷たさを活かす手法から傷付きやすい欠点を繊細なパターン(傷)を加えることで、金属でありながら金属らしくない自然で細やかで暖かみすら感じる表現、打刃物の職人による有色積層鋼が生み出す柄や色等の工芸技術と現代技術との融合による表現、南部鉄の茶シブやお歯黒による仕上げの応用や真鍮の古美色の斑感表現(まだら模様)などだ。特に、「金属素材のもつ肌の生命力をどう引き出すかが我々の仕事です。」は、まさしくMindを刺激する印象深いキーワードであった。 三宅 雅夫

各メーカーの取り組み

株式会社ユニオン

ROMANTE CONCEPT 華麗 Karei

真に価値あるものを永く愛する人へ、ロマンテ。

“ロマンテ”は、真に価値を求める人のこだわりにお応えする、ユニオンの最上級ブランドです。そしてブランドネームであると同時に、真の価値を生み出すロマンテを追求するユニオンの姿勢と、そのプロセスの総称でもあります。主に日本で古くから受け継がれている伝統工芸に着目し、ユニオン独自の技術と融合させることで、建築ディテールの新たな価値を創造。職人の手仕事の良さを伝えながら感性に訴える製品でありたいという想いから、多くの製品をプロデュースしてきました。いまでは、その個性も多岐にわたり、惹き寄せ日本の美を、さまざまな空間に展開していただけます。一つひとつの手仕事に込められた思いを受け止め、末長く手入れをしながら、歳月とともに深まりゆく味わいに思いを寄せるとのこと。他では得ることのできない幸せな対話と、良いものを永く愛するスタンスを“ロマンテ”がお届けします。

真鍮鑄物
越前打刃物
鍛鉄
金沢箔
南部鉄

最上級商材のロマンテに絞ってお話を伺ったが、ショールームはまさしく「製品の全てがアートウェアです」に相応しい、金属の仕上げ加工の宝庫のようである。他の商品も含め一見の価値あり、まだの人は早い目に訪ねてみてください。

写真は「ロマンテ」シリーズの金属表面処理の一例です。左上のロマンテコンセプトもぜひ読んでみてください。

株式会社ロイヤル

concept

最近このshopも同じ表情に見えるのはどうしてだろう

VMDに基づき決められたポジションを守るいつものsystemいつものパーツ

流行を創る商品と触れ合っているのがなぜいつものパーツなのか不思議でならない

そんな日本には四季があり街の風景さえ色々な美しい表情を見せてくれる

商空間も同様にその表情も無限に広がる可能性を秘めていると思う

決して定番にはならない

1つ1つの表情を大切にできる物を

そんな商品をVIEUシリーズとして提案させていただきます

vieu series catalogue

機能、品質、素材、デザインにこだわった vieu series。壁面用ポイントサポートシステム・フリーポールシステム・天井ロッドシステムなど精緻感に満ちた金属加工と仕上げは使って見たくなると同時に、展示する商品を一層際立たせる逸品です。

arredare numero 4

muroartista

microartista asseologica cieleirella fissore prova

vieu

エヌ・エス・ケーニシダ工業株式会社

取材の後、「百聞は一見にしかず」で工場見学をしました。金属素材の表面処理への努力と工夫、経験と技術の深さが見て取れました。デザイナーが必要とするイメージにあったパターンと色で新しいマテリアルを提供していただける、デザイナーのためのデザインマテリアル企業だということが分かりました。

取材の時準備いただいた表面処理素材

特殊な研磨・アルマイト処理によりやさしくあたたかみのある新感覚のアルミ建材の応接室

アルミストーン(新感覚のアルミ建材)サンプル
カラーでないのが残念。ぜひサンプルで実感して下さい



Mini Seminar 2007-第1回

テーマ:「Disney+WA-Qu」京都デザイナー集団の
とくみ

講師:中塚重樹氏(株)アルクインターナショナル)
インタビュー:藤村正継

(CN-JAPAN/株)クリエイティブネットワーク

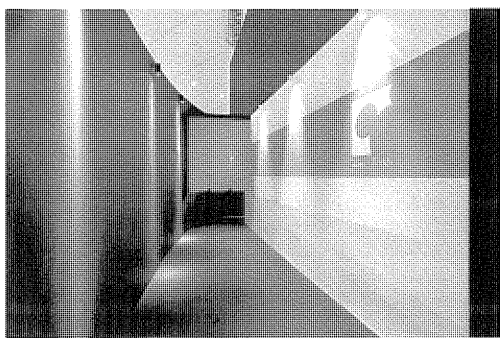
開催日時:2007年7月20日(金) 19:00~20:30

開催場所:ライティング・コア大阪

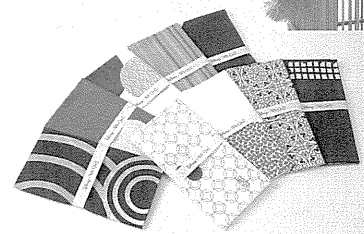
参加費:1,000円(1ドリンク+おつまみ付き)

JCD関西研究委員会企画のミニ・セミナーは1年ぶりに再開しました。このセミナーはJCD会員が対象で、その友人・知人・教え子くらいまでの範疇が集まり、サロン形式のフランクな雰囲気の中、ビールを飲みながら文化・デザインに触れ、有意義な黄昏時を過ごそうという企画です。

今回のテーマは、アメリカを代表するエンターテインメントビジネスを展開する「Disney」と京都のクリエイター集団「WA-Qu」が取り組む製品開発に着目し、その目的やいきさつなどをお話いただこうと、中塚重樹氏を招きました。開催前に雨が降り出し、集客が心配されたなか、33名という予定以上の方にご参加いただき、誠にありがとうございました。

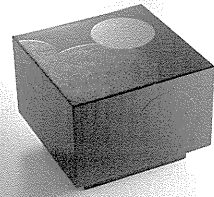


インテリアライフスタイル会場



手ぬぐい

ミッキー漆箱



鳥かご

まず、中塚氏から「WA-Qu」のメンバーやその活動内容をスライド交えてご紹介いただきました。特に、ミラノ・サローネに3年連続で出展し、内外におけるマスコミに評価された事など、JCD会員にも興味深い活動内容でありました。

その次に、「Disney + WA-Qu」の製品について、先に行われました「インテリアライフスタイル」の会場写真を交えながら説明いただきました。

生産は一部を除き、京都の有名職人の手によるものづくりで、まさに日本の伝統工芸と日本人デザイナー、それにアメリカのキャラクターという、今後を示唆するコラボレーションが完成したわけです。製品にはデザイナー名をださないなど、作品性を抑え、あくまでも売りに徹底するなど、いままでのコラボレーションには見られない試みも実践されていました。実際その後開催された東京「OZON」のイベントでは、手ぬぐいが1,000枚売れたそうです。

会場にお集まりいただいた方の挙手による製品人気投票も行いましたが、製品に対する色々な意見も飛び出し、今後参加したいとの意見までありました。

私自身、当初 WA-Qu に参加してその前向きな取り組みを知っており、今後のJCDのあり方のヒントになり得たとも感じております。例えばJCD会員によるミラノ・サローネの出展、賛助企業とのコラボレーションによる製品開発などです。JCD会員でしかないメリットづくり、団体でできない開発など、今回のセミナーを通じ、考えさせられました。

ひとまずセミナーは盛況のうちに終わりました。今回参加いただいた皆様、予定時間を30分超過するほどの盛上がり、ありがとうございました。また、会場をお借りいたしました大光電機の皆様、ありがとうございました。

今後この「Mini Seminar」は9月、11月と2回開催する予定です。趣向をこらした内容にしたいと思っておりますので、是非ご参加ください。

研究委員会 藤村 正継

Endress Marathon Communication



酒と肴 そして

東京の東側を流れる隅田川に架かる橋の一つ、吾妻橋は墨田区の本所と台東区の浅草を繋いでいる。私は、この橋から僅か50メートルほど離れた本所吾妻橋一丁目で生まれ、13才までをそこで過ごした。

橋のすぐまえに、戦前までサッポロピヤホールと呼ばれていた建物があり、その屋上にはグラスにビールがなみなみと注がれると満杯になった泡が零れ落ちるイルミネーションが夜空に輝いて、子供心をわくわくさせたものである。今はご存知「フィリップ・スタルク」デザインによるアサヒビールの建物に炎のモニュメントがスポットライトを浴びて黄金に輝いている。

本所、深川と云えば江戸の下町、特に生家の近隣には様々な職人が住まいの一隅を仕事場にして暮らしていた。その仕事ぶりは見ていて飽きることがなかった。幼友達のよっちゃん「ち」は雪駄の台作り、やっちゃん「ち」は飾り職人、江戸小紋の型抜き、木目込み人形師等々、大方は夫婦一緒に仕事に励んでいたように思う。仕事を終えての晩酌はご苦労様の印。友達の家では、おかみさんが小さな鍋で作るいくつかのおかずをちゃぶ台にのせて晩酌の肴にもしていた。たまに「かずちゃんも食べておいきよ」と云ってくれて手料理のお相伴に預かったこともあった。慎ましい暮らし向きでは、独り身の職人達も外で酔らって大声を張り上げて騒ぐようなことはなかったような気がする。

私の家では会社勤めの父も、家作をいくつか持ち、ご隠居さんをしていた祖父も一切酒とは無縁で、神様用と調理用の酒があるのみであった。亡くなった母は「男の人達が料理に煩くてよく泣かされた。」と述懐していた。酒飲みの好む料理と飲まない人の好む料理は多少違いがあるようだ。お酒の気配のない家庭に育った私が大酒飲みを夫にしてしまい、酒飲みの扱いが分からず長い間苦労してしまっただけで、今ではお互い歳を重ね穏やかな酒との付き合いが出来ようになってきている。

デザインの仕事をしてきたお陰で多くの人との出会いがあり、酒と料理の楽しい思い出も沢山ある。

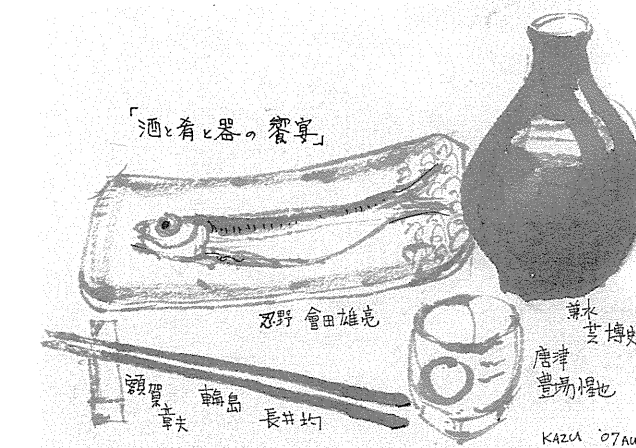
まずは沖縄料理と泡盛。私がまだ20代半ばの頃、劇作家の秋田雨雀さんのご紹介で、沖縄を代表する詩人である山之口 貌にお目にかかるようになり、「和代ちゃん」と娘のように呼んで可愛がって下さった。池袋の「おもろ

という沖縄料理屋のご常連で何度かお供をしたことがあり、そこで初めて泡盛とチャンプルに出会った。苦瓜の入った豆腐料理。今でこそマスコミに載って多くの人の知るところであるが、50年以前は極一部の人の好む料理であった。泡盛も然りである。踊りの大好だった山之口 貌さんは気分が乗ると手振もよろしくサンシン(三線)に合わせてとても上手に踊ってくれた。娘さんの泉さんの著書によると、その頃貧乏のどん底だったそうだが、少しもそんな気配は感じられなかった。亡くなって44年、純朴な澄んだ心で優しく接して下さった詩人を今でも懐かしく思っている。

次にイタリアの蝦蛄(シャコ)。10数年前のイタリア旅行中に友人に頼まれ、ベネチアのチェステイーナ邸をお訪ねしたことがあった。運河に面したバルコニーの両側にチントレットの壁画があり、ベネチアでも有名な邸宅の一つである。この邸の主人はチェステイーナ・洋子・長江さんでハーピニストである。邸の中に船着場がありエレベーターで三階に上がるとそこは大広間。グランドピアノ、いつも使われているハーブと亡くなられたご夫君から贈られた黄金のハーブがゆったりとした空間に置かれていた。ベネチアガラスのシャンデリア、家具も置物も絵画も邸宅に相応しい美術品ばかりで鑑賞に時間を忘れるほどであった。

「お昼をどうぞ」とダイニングルームに案内され食事が始まった。食卓を見てびっくり、いくつかの料理と茹で上がった淡いピーチ色をしたシャコがお皿一杯に置かれてあった。日本だけの食材と思いついていたものだから海の幸の多様さに脱帽。肉厚で柔らかく、軽い甘みと磯の香りに幸せを噛みしめた。多分オリーブオイルをかけて頂いたと思うのだが、シャルドネの芳香とともにイタリアでシャコに会った驚きは今も鮮明である。

酒も料理(肴)も「美味しい」は味わった個人の好みである。しかし、その時の人との出会いは何物にも換えがたい、心を満たす味である。秋の夜長、お気に入りの唐津のぐい飲みに常温の「メ張鶴」をとくとくと注ぎ、炙ったうめ鯛を翳りながら「池波正太郎」を読むひと時、それは私の一番くつろぐ時間である。



「酒と肴と器の饗宴」

忍野 會田雄亮

華水 芝博史

唐津 豊場博也

長井均

KAZU 07AUG

大阪デザイン団体連合機構(USD-O) 第7回定例総会

渉外担当理事 山田 悦夫



<プロジェクト1>

『地球はひとつの巣箱である』をコンセプトに世界のトップクリエイターが参加するバードハウスプロジェクトの『環境デザイン活動』の紹介と、このプロジェクトを通じデザインビジネスへと発展する『マインドリッチプロジェクト』の事例紹介を行う。

<プロジェクト2>

大阪のインテリア業界のデザイナーとインテリアショップとのリンケージを新しい視点で確立しようと企画している『Best Design Osaka』の紹介。
またデザイナーズミーティング終了後、交流会が行われ、各団体間のネットワークが構築された。残念なのは、代議員の総会出席者が少なかったことである。

平成19年6月14日(木)大阪南港ATCにおいてUSD-O定例総会が行われた。USD-Oは1981年に関西を拠点として活動している広いジャンルのデザイン団体が参加した連合組織であり、「デザインの高度化と、地域社会における産業と文化への貢献」をテーマに活動しています。JCDとしては発足以来参加しており、現在は理事として山田渉外担当理事が就任しています。総会において以下の第1号議案から第4号議案までの議案が審議され、全議案を承認し無事終了した。

- 第1号議案 平成18年度活動報告及び収支決算報告承認の件
 - 第2号議案 役員改選の件
 - 第3号議案 平成19年度活動方針及び収支予算案承認の件
 - 第4号議案 その他
- 又、総会終了後デザイナーズミーティングとして山田(JCD)コーディネーターのもと、2つのプロジェクトが紹介された。参加代議員からも熱い意見が戦われ、これからの大阪のデザインビジネスの発展をかいまみることが出来たように思う。

初夏のるるぶ会 伊勢・志摩スケッチの旅 平成19年6月2日(土)~3日(日) 参加者11名 大森 貴夫

『観る・食べる・遊ぶ』るるぶ会。今回のテーマは“お伊勢参りとシーフード料理を満喫しよう”です。スケッチポイントは、伊勢神宮・リアス式海岸を見下ろす展望台・白亜の大王崎灯台など盛りだくさん。最後に江戸時代から続く酒問屋の建物を修復、まちづくり拠点として公開されている「河崎商人館」を見学、少し『学ぶ』も体験しました。
まずは初日、京都・大阪から伊勢自動車道「安濃SA」に集結した一行は一路伊勢市の「おかげ横丁」へ。ぶらぶら歩きの後「すし久」で昼食。むぎとろ・てこね寿司など伊勢路の田舎料理を堪能しました。
午後、身心を正し玉砂利踏みしめ内宮参拝、旅の安全祈願。そして五十鈴川のほとりから、うっそうと茂

る神宮の樹林をバックに神明鳥居・宇治橋をスケッチ。次に「お伊勢参らば朝熊をかけよ、朝熊かけねば片参り」と伊勢音頭にも謳われた金剛証寺にお参り、我々中高年メンバーは、きっちりと長生き・健康・家内安全などお祈りしたと思われます。次にパールロードのゆったりドライブを楽しみつつ「海女の里国崎町鑑崎」など岬めぐりをし、今夜のお宿賢島へ。夕食は和食派とフレンチ派に意見が分かれたため「和風フレンチ」に決定。フランス料理と和食のやさしさが融合した新しい味わいの献立を味わいました。そしていつものように飲み、さらに唄い、グルメ談義・芸術談義、そして眠る。中高年の朝は早く翌早朝、横山展望台に登り英虞湾のスケッチ。日本有数のリアス式海岸が複雑に入り組む海岸線と碧の入江に真珠筏のかすり模様が映える様子が美しく一望できました。その後、「絵描きの町」とよばれる大王町へ到着。「絵描きの銅像」のある、見晴らしのよい八幡さん展望公園から白亜の灯台「大王崎灯台」をスケッチし、河崎商人館へ。ここには母屋を中心に7つの蔵と離れがあり国の登録有形文化財にも指定されています。ここで解散、帰路につきました。
ところで自分の作品の方は、結局のところ、やっぱり、ウーム…でした。



大王崎灯台にて

多種多様の演出照明を商空間へ。
演出照明のことなら、日照へ
お気軽にお問い合わせください。

日照
株式会社
〒566-0035 大阪府摂津市鶴野3丁目8番7号
TEL 072-634-1231(代) FAX 072-634-1239
E-mail: info@nissho-osk.co.jp http://nissho-osk.jp

AIDEC MODERN

AIDEC
株式会社 アイデック
〒550-0013 大阪市西区新町1-10-2
大阪産業ビル/大阪ショールーム
tel 06-6534-0258
fax 06-6532-4876
URL: http://www.aidec.jp

http://www.tajima.co.jp

TAJIMA URBAN FLOOR DESIGN

素と色のやすらぎ
Vinyl Composition Tile Dotce and Doice Chroma

現代の建築空間の中心で、人々に憩いと安らぎを与えるものは、自然においをもつ素材感覚と共鳴し合う色彩だと言えます。

タジマコンポジションビニル床タイル

ドルチェ/ドルチェクローマ

株式会社 **タジマ** 大阪西営業所
〒550-0003 大阪市西区京町堀1-10-5
TEL: 06(6441)6951 FAX: 06(6444)2596

Vinyl Composition Tile

TOLI

光と影による
自然な繋がり無限の広がり

東リグラフィックタイルカーペット
底至りクラシック

- 2柄×7色 全12アイテム
- 寸法 500mm×500mm
- 9,100円/m²(材料価格 税抜き価格)

底至り

SOKOITARI CLASSIC

東リ株式会社 http://www.toli.co.jp

JUSi

再利用可能な
熱可塑性樹脂を使用した
スポットライトとベースダウン。

イニシャルコストも抑えられ、
ベースダウンでは省エネを考慮した光源を設定しています。
本体すべてが樹脂製のベースダウンも新たに加わりました。

埋込穴φ75mmの本体がオール樹脂製のベースダウンが新登場。

店舗照明の専門メーカー

maxray
A Harmony of Light and Space

マックスレイ株式会社
〒536-0014 大阪市城東区鴨野西2-18-6 TEL.06-6967-0140(代) FAX.06-6962-5988
東京 03-3791-2711 大阪 06-6967-0123 名古屋 052-252-9556 福岡 092-431-7824

http://www.maxray.co.jp

環境マネジメントシステム
ISO14001を
認証取得しています。
EJ 01838 /
JIS Q 14001:2004

Needs
&
News



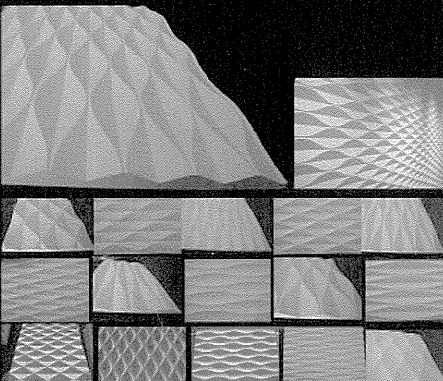
●いいインテリアのある場所には、いい生活がある。
壁紙・カーテン・床材・イス生地・・・
サンゲツなら、たくさんの商品の中からお気に入りのインテリアがトータルに揃います。
さあ、あなたも素敵なお部屋づくりはじめてみませんか。

株式会社サンゲツ ホームページ <http://www.sangetsu.co.jp>

- 本社/名古屋店 TEL.052-564-3111 ●東京ショールーム TEL.03-3505-3300
- 名古屋ショールーム TEL.052-564-3225 ●大阪ショールーム TEL.06-6440-5011

since 1987.5.1

ありがとうございます
5月で満20歳になりました。



JCDプロダクト オブザイヤー2007進グランプリ受賞
サイカリア「リブ」シリーズ(全19パターン)

株式会社 サカイ
TEL 092-606-7810 FAX 092-608-0090
SAKAI Rib URL:<http://www.sakairib.com>



急速に「セテック」に変わってゆく
セラミックタイル。
これまでにない印象的な本自派のデザインや
シングルなアースカラーを基調とした
マットタイプを取り揃えました。

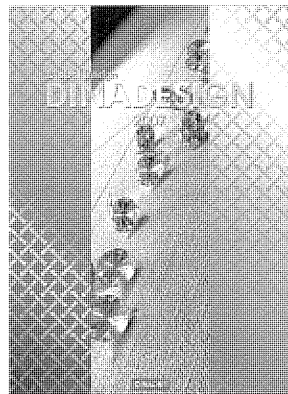
株式会社セルコンテクノス

大阪本社
〒532-0003 大阪市淀川区宮原5-8-37
TEL 06-6394-4400 FAX 06-6394-4100

カワシマセルコンプレゼンテーションルーム
〒541-0048 大阪市中央区瓦町4-7-4 南星瓦町ビル1F
TEL 06-6226-4764 FAX 06-6226-0309
営業時間 10:00~17:00(平日)

<http://www.selkontechnos.co.jp>

DINAONEは、ヨーロッパをはじめ、
世界中から選りすぐったタイルおよび石材を
幅広く揃えております。



新カタログ完成

DINAONE

DINAONE大阪営業所
〒550-0012 大阪市西区立売堀1-3-13第三富士ビル
TEL : 06-6539-3604 FAX : 06-6539-3523

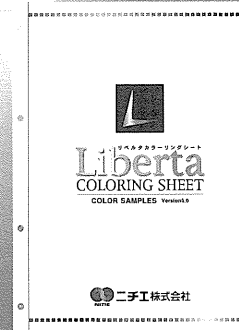
DINAONEショールーム
(同上第三富士ビル1階 INAX the TILE space内)
TEL : 06-6539-3721 FAX : 06-6539-3723
営業時間 10:00~18:00 休館日 土日祝・年末年始・夏休み
URL : <http://www.dinaone.co.jp>

商業空間の演出、ブランドイメージの定着に 多彩な視覚表現をサポート!

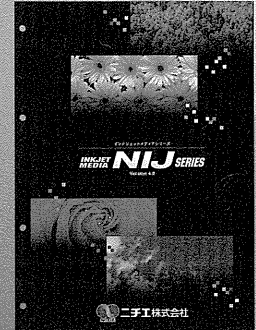
マーキングフィルムの『リベルタ カラーリングシート』

インクジェットメディアNIJシリーズ、
ガラス用装飾フィルム『サイングラス』
ニチエの3大シリーズが充実度UP!
視覚表現を力強くサポートいたします。

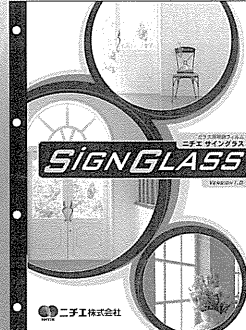
NEW! 『リベルタ
カラーリングシート』
Ver.5.0 (全150色)



NEW! 『インクジェットメディア
NIJシリーズ』
Ver.4.0



ガラス用装飾フィルム
『サイングラス』 Ver.1.0

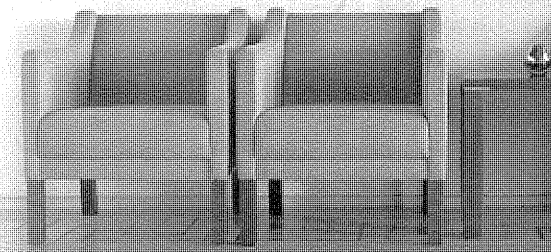


ニチエ株式会社 NITIE
大阪本社 〒532-0033 大阪市淀川区新高1-6-28 TEL.06-6399-6601 FAX.06-6399-7501
東京営業所 〒162-0044 東京都新宿区喜久井町19 TEL.03-3202-5481 FAX.03-3203-6735

ホームページ リニューアルいたしました! <http://www.nitie.co.jp>

NEW LINE UP 2007
＜Vol.17＞

アボールド
abold
Original Furniture Collection



Needs
&
News

株式会社キノシタ
<http://www.kk-kinoshita.co.jp/>

本社・ショールーム
〒556-0005 大阪市淀川区日本橋 4丁目9-22
TEL.06(8644)5541 Fax.06(8644)5544-5563

東京支店/Tel.03(5685)8401
名古屋支店/Tel.052(824)8680
出雲工場/Tel.0853(28)0311

株式会社キノシタ



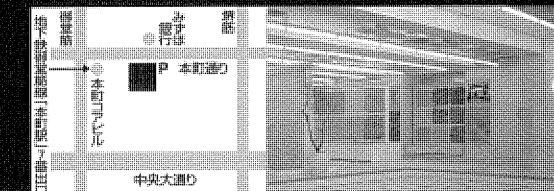
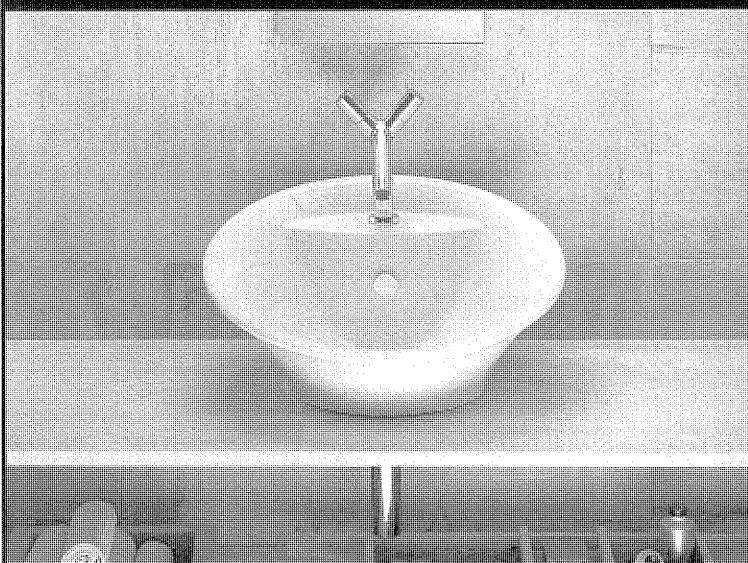
焦点をつくる光。ジーラ

コイズミ照明の著名デザイナーのコレクションから
生み出される「ACTION」シリーズの新作「ジーラ」
UFOを思わせる近未来感を演出し
クールなアルミ加工素材が「ジーラ」を
フロアスタンド・デスクスタンド・吊下げタイプ
お好みの反転角度で、照らす方向が自由自在。

コイズミ照明株式会社

本社 大阪府大阪市淀川区日本橋4丁目9-22 TEL.06-8644-0033 東京支店 東京都千代田区千代田1-12-101 TEL.03-5685-8401 <http://www.koizumi-lt.co.jp/>

アドヴァンのショールームは、選りすぐった「良いものを世界から」集め、
ハイセンスな商品約5,000点を常時展示しています。
プロのデザイナーはもちろん、インテリアコーディネーターや一般の人まで、
あらゆる分野の方からご利用いただいています。
ぜひ一度ご来店の上、実物に触れてみてください。



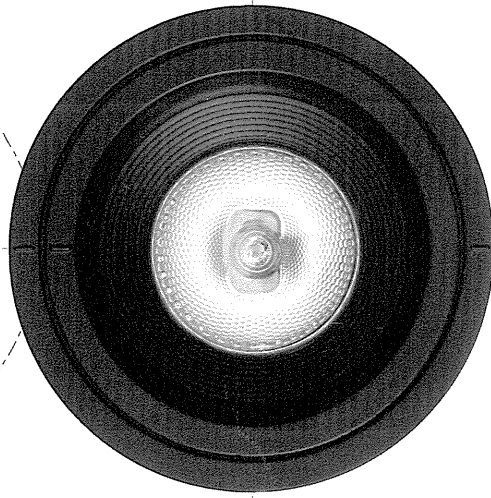
大阪・本町ショールーム
〒541-0053 大阪市中央区本町3-3-12
TEL.06(6245)0975(代) FAX.06(6245)0976

ADVAN 株式会社アドヴァン
<http://www.advan.co.jp/>

National

こだわりの商空間に
こだわりのライティング。

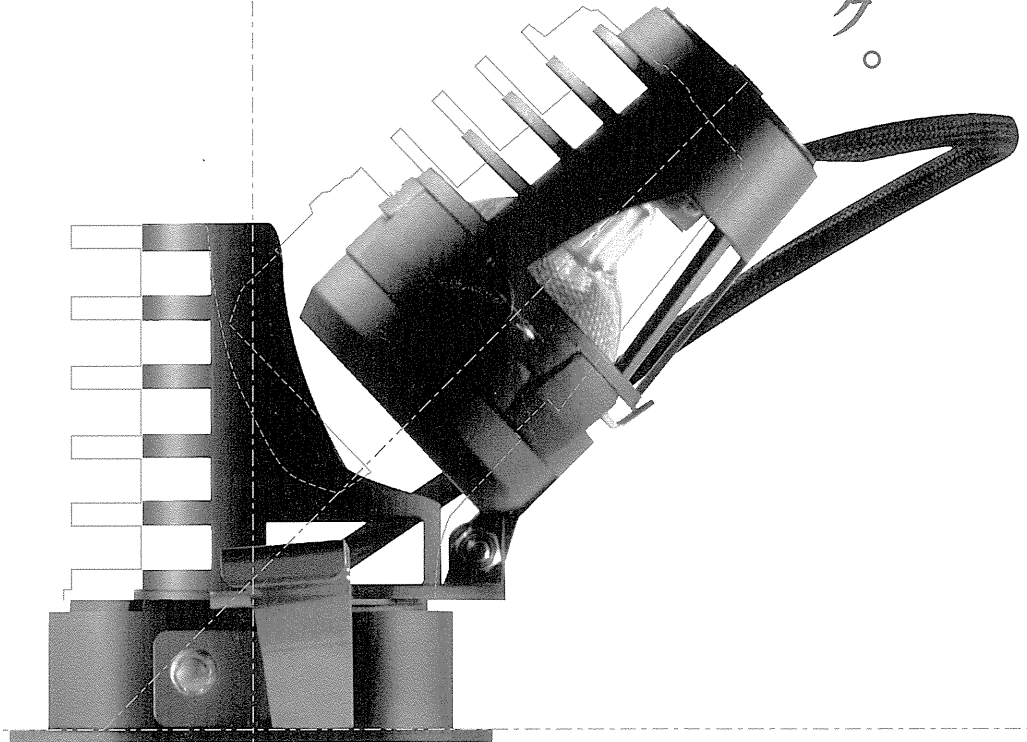
Minimum
 $\phi 55$



Originality

45° +slide

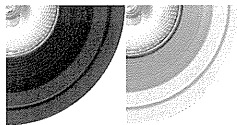
スライド機構で上まで狙える照射角。



45°

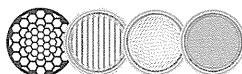
Non detail

空間イメージへの影響を抑えた
細部にわたる上質な仕上げ。



Effective

演出イメージに合わせて
選択できる各種オプション。



NASHOP for Designer's Standard

MONE

biz.national.jp/Ebox/nashop/MONE

○店舗照明についての詳細、及びカタログのご請求は、biz.national.jp/Ebox/nashop

○商品に関する問い合わせは、〒571-8686 松下電工(株)照明事業本部ナショップ・調光システム事業部(住所記載不要) TEL.06-6908-1131(大代表)まで。

松下電工